

石見の地より

開館10周年記念企画展

祈りの仏像

祈り…。自然災害、天候不順、戦乱や疫病、近い人の病や死…。ひとの力ではどうすることもできないものに向かうとき、祈りは捧げられました。6世紀以来、わが国で千年をこえて拜され続けてきた仏像は、こうした人々の思いを一身に受けとめてきたのです。本展では5つの特徴的なテーマにそって、石見の仏像はもとより、中国地方5県から仏像・仏画が大集結。この地に生きる人々に受け継がれた祈りの造形に迫ります。2009年の企画展「千年の祈り 石見の仏像」から6年の歳月を経て、当館による仏像調査は石見全域に及びました。これにより得られた最新の研究成果を中心に、さらに壮大なスケールで開館10周年を記念します。国宝2点、重要文化財16点、新発見・初公開作品12点を含む展示総数約60点。

日本の安泰を祈る

国分寺と四天王

中国地方を代表する

四天王像がずらり勢ぞろい



【重要文化財】
《四天王立像》 平安時代
広島・古保利薬師堂



【重要文化財】
《持国天立像》
平安時代
島根・大寺薬師



《観音菩薩立像》
奈良時代 島根・圓福寺

新発見

あこがれの浄土へ

阿弥陀信仰・観音信仰

近年、石見地方で発見された文化財級の仏像七体が初登場



《阿弥陀如来坐像》 鎌倉時代 島根・福徳寺



【重要文化財】
《阿弥陀如来立像》
鎌倉時代 島根・清泰寺

中国5県の仏像に会える。

新発見



《大日如来坐像》 鎌倉時代 島根・永明寺

【山口県指定文化財】
《地藏菩薩坐像》
鎌倉・南北朝時代
山口・東隆寺

乱世に 泰平を祈る

室町幕府と
地域の領主たち
地域文化発展の時代
在地の力作がそろう踏み

日本海をわたって

中国・朝鮮半島からの渡来仏
対外交渉を物語る珠玉の仏教美術



【重要文化財】
《十一面観音菩薩立像》
唐時代 山口・神福寺



【重要文化財】
《地藏十王像》
高麗時代 岡山・日光寺
【展示期間：9月19日～10月5日】



【重要文化財】
《観音菩薩立像》
北宋時代
鳥取・大山寺

諸国を めぐり祈る

木喰上人の微笑仏
江戸時代の修行僧・木喰
その独創的な祈りの世界



《釈迦如来坐像》
江戸時代 島根・龍禪寺

国宝

《当麻受茶羅羅起絵巻》
鎌倉時代 神奈川・光明寺
※会期中巻き替えあり

良忠上人と 浄土教美術

石見出身にして浄土宗第三祖
ゆかりの名刹から至宝の数々

特別
展示



《然阿良忠坐像》
室町時代 神奈川・光明寺
【展示期間：10月21日～11月16日】

